

# インバウンド向けARスポーツ観戦サービス実証「全体概要」(1/6)

## 本事業の目的

- ARの活用による、外国人のスポーツ観戦支援の有効性を検証した

## 1. 事業の概要

事業の様子	
事業主体	NTTドコモ(株)
構成団体	(株)TBSテレビ、(株)近畿日本ツーリスト首都圏
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2018世界バレー女子大会において、「ARライブ映像システム」(ライブ映像等の表示されたコンテンツを手で自由に操作できるもの)を搭載したスマートグラスを用いてのモニター体験を実施した</li> </ul>
実施エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 神奈川県横浜市(横浜アリーナ)</li> </ul>
実査期間 (コンテンツ提供期間)	2018年9月30日、10月1日

## 2. まとめ

### 実施結果・検証事項

- 体験者数は限定的であったものの、ARを活用したスポーツ観戦に対し、有料化も含め概ね良い評価を確認できた
  - 体験モニターの人数:64名
  - ARスポーツ観戦体験に肯定的な回答をした人の割合:61%
  - ARスポーツ観戦でこれまでにない観戦体験ができたという回答をした人の割合:61%
  - ARスポーツ観戦体験の有料化に肯定的な回答をした人の割合:76%(有料化の金額としては1,000円が最多)

### 考察

- 本事業はスポーツ大会での実証であったが、開催日に悪天候による交通機関の乱れ・当日キャンセルが発生した影響で、十分な体験者数を確保できなかった
- 体験者数に課題は残るものの、アンケートでは体験満足度・有料化も含め概ね良い評価を得ており、ARのスポーツ観戦への応用に可能性があることを確認できた
- 改善点として、機器の重さや操作性等、技術面の課題を挙げる体験者が多かった

## 3. 参考となるポイント

- 他のスポーツへの応用
  - 機器及びインターネット環境の整備により、あらゆるスポーツ観戦への応用が可能
- 有料オプションサービスとしての展開
  - スポーツ観戦以外の解説が必要な観光コンテンツにおいても、有料オプションサービスとしての展開が可能
- 広告機能の活用
  - 投影するコンテンツの設定により、広告を付すことが可能であり、観戦中にスタジアム内の物販施設(グッズ販売店・飲食店等)、観戦後に地域の観光施設等への誘導を促進する活用が可能

## インバウンド向けARスポーツ観戦サービス実証「実施結果」(2/6)

- 準備時間が限られている中、メディアや旅行会社と連携することで、ARコンテンツ制作やモニターツアー実施に対応した

### 4.実施内容の詳細及び考察

分類	#	タスク名称及び詳細	課題と対応方法	考察
<準備>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施内容の検討           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ARスポーツ観戦サービスの実証について、詳細内容(全体スケジュール、システム構成、ARコンテンツの製作方法、実証本番の運営方法)の検討した</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スポーツ選定から実証本番まで約1か月と準備期間が短く、予算も限られている中で、実証本番を円滑且つサービスが中断することなく運営することが求められていた</li> <li>■ TBSテレビが当日地上波でTV中継する予定があったことから、その中で活用可能なリソース(ARコンテンツ制作や配信に必要なシステムの設置場所や素材データの入手等)を実証本番で活用することを前提とすることで、実現可能な詳細内容を短期間で具体化することができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業実施にあたっては、ニーズやスポーツの特性等を踏まえて検討することが重要である</li> <li>■ スポーツ競技大会のTV中継を行うメディアと連携することで、ARコンテンツを効率的に製作することが可能となる</li> </ul>
<実施>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ARスポーツ観戦サービスを競技場(横浜アリーナ)にて実証モニターに提供する。提供期間は9月30日、10月1日の2日間でそれぞれ3試合にサービスを提供した</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現場での実証モニターの誘導や説明等の多言語対応には、ノウハウや経験が必要な状況が想定された</li> <li>■ 実証モニターの誘導や説明等、旅行ツアー的なノウハウ・対応が求められることから、そのノウハウや知見が豊富な近畿日本ツーリストに業務を委託し、実証本番の諸作業の対応を実施した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ARスポーツ観戦サービスの提供には一般のお客様対応が必須であるため、そのノウハウや知見・スタッフを所有している企業への業務委託・連携が有効である</li> </ul>
<とりまとめ>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アンケートの実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ARスポーツ観戦サービスの効果検証を目的に、実証モニターにアンケート調査を実施し、その結果の集計・分析を行った</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 紙での手書きによるアンケート調査を実施したため、自由記述部分について記載内容が読みづらいものがあった</li> <li>■ 読みづらい部分については複数人でレビューを実施し、記載内容を解読した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アンケート調査(特に外国人に対する)は、スマートフォンやタブレットを利用した電子化されたアンケートシステムを活用した方が、集計作業が効率的になる</li> </ul>

## インバウンド向けARスポーツ観戦サービス実証「分析結果」(3/6)

- 体験者の約6割がARスポーツ観戦サービスについて「とても楽しかった・楽しかった」、「これまでにない観戦体験を得ることができた」と回答しており、本サービスについて一定の評価が得られた
- 有料体験とした場合の負担額について、「500円～1000円」が全体の約6割を占める結果となった

### 5.分析結果

#### 調査手法

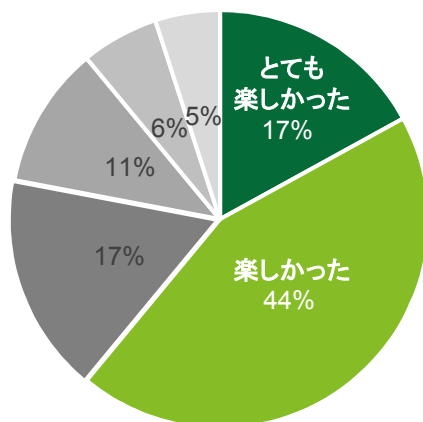
- 「ARライブ映像システム」を活用したスポーツ観戦の体験者を対象にアンケートを実施

#### モニター数

64名  
・モニターの国籍の上位3カ国・地域は、「アメリカ：20%」、「インド：13%」、「台湾：9%」

#### Q1.ARの体験はどうでしたか

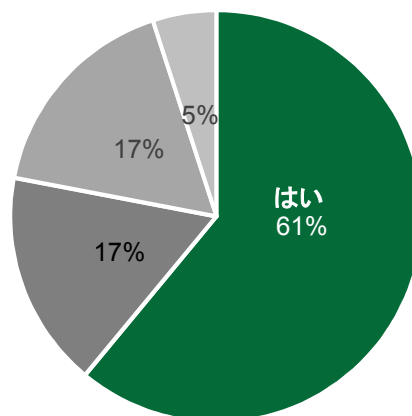
- とても楽しかった
- 楽しかった
- どちらでもない
- あまり楽しなかった
- 全く楽しなかった
- 無回答



「とても楽しかった」・「楽しかった」の回答割合が約6割

#### Q2. 他視点映像などの視覚情報や音声実況を聞きながらスポーツ観戦をすることに対して、これまでにない観戦体験を得ることができました

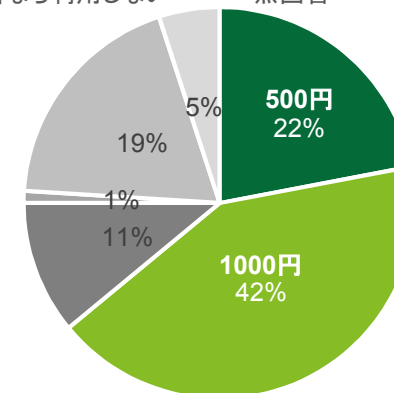
- はい
- いいえ
- どちらでもない
- 無回答



「はい」の回答割合が約6割

#### Q3.今回体験して頂いた「スマートグラスを使ったARスポーツ観戦サービス」が有料となった場合、いくらまでなら負担できますか

- 500円
- 1000円
- 3000円
- 5000円
- 有料なら利用しない
- 無回答



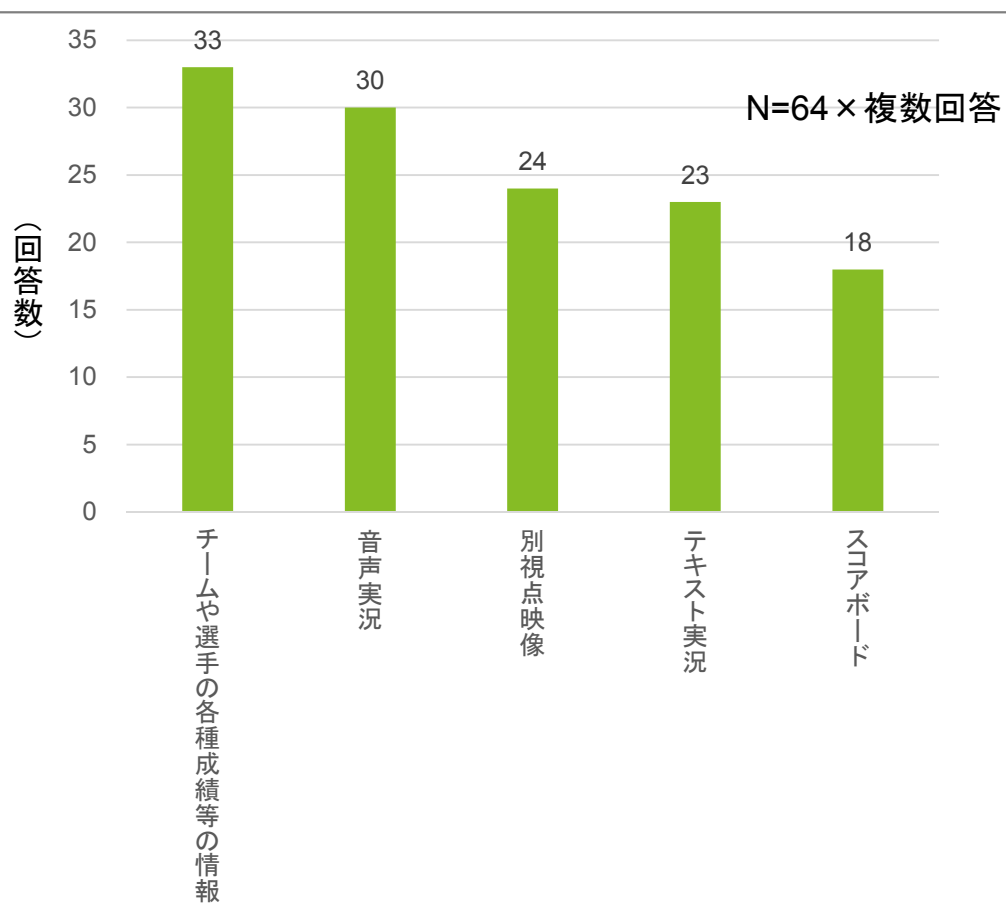
「500円」・「1000円」の回答割合が約6割

## インバウンド向けARスポーツ観戦サービス実証「分析結果」(4/6)

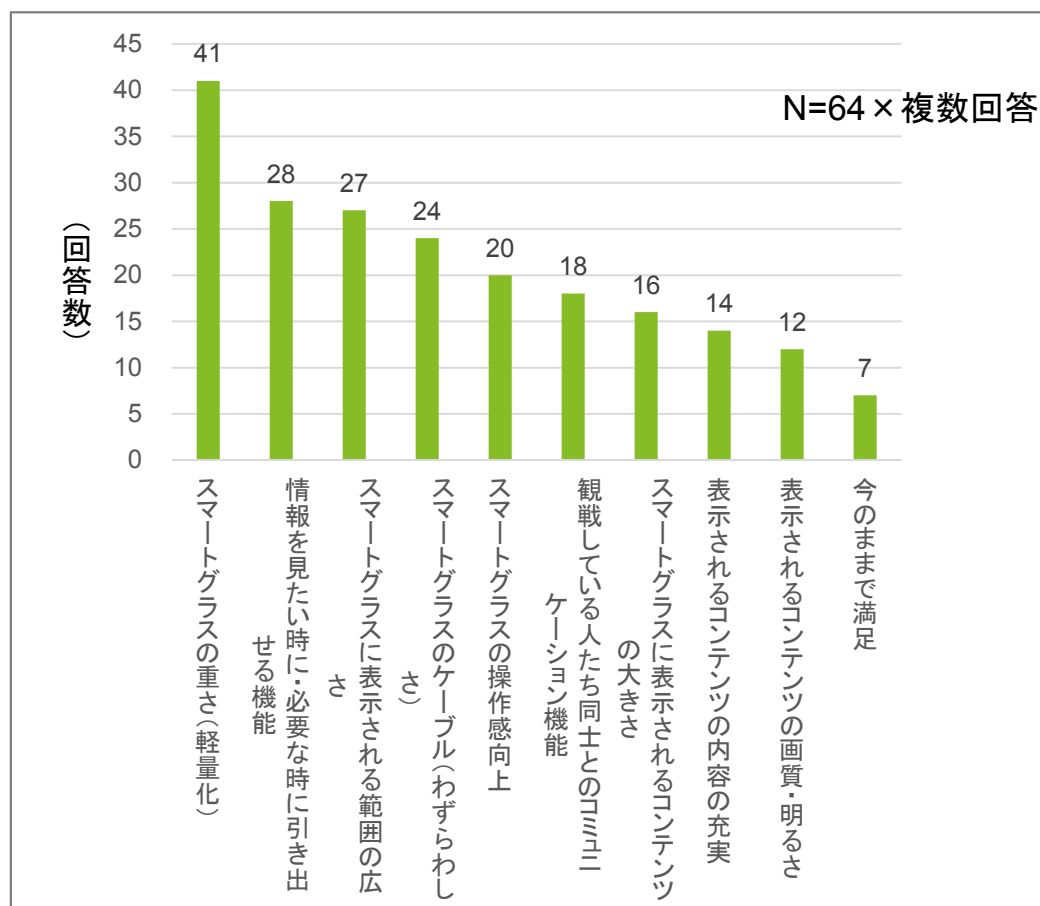
- ARを活用した新たなスポーツ観戦として、体験者が最も付加価値を感じたものは「チームや選手の各種成績等の情報」であった
- スマートグラスを活用したスポーツ観戦をもっと楽しむための改善点としては、「スマートグラスの重さ(軽量化)」を挙げる声が多かった

### 5.分析結果

競技場等でのスポーツ観戦やテレビでのスポーツ観戦等の従来の観戦スタイルと比べて、新たなスポーツ観戦スタイルの感覚を得たARコンテンツはどれでしょうか



スマートグラスを装着しながら長時間スポーツ観戦をもっと楽しむために改善や追加が必要な仕様・機能をお聞かせください



## インバウンド向けARスポーツ観戦サービス実証「検証結果」(5/6)

- 募集期間が限られたことや期間中の悪天候によって公共交通機関に乱れが生じたことから体験者数が当初想定を下回ったが、体験者のコンテンツへの満足度は高く、今後の発展が見込まれる結果となった

### 6.検証結果

#	検証目的	検証項目	結果	考察
1	ARスポーツ観戦サービスの提供による、スポーツ観戦に対する訪日外国人旅行者の満足度の検証	スポーツ観戦に対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体験者の約6割が「とても楽しかった・楽しかった」、「これまでにない観戦体験を得ることができた」と回答</li> <li>■ 提供した情報の中では、特に「チームや選手の各種成績等の情報」や「音声実況」に価値を感じる方が多かった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ARの活用によるスポーツ観戦支援については概ねよい評価を得ることができたので、下記改善事項に取り組むことによる今後の発展が期待される</li> </ul>
2	ARスポーツ観戦サービスの提供にあたっての改善点の確認	改善事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 改善点としてはスマートグラスの重量が最多となった</li> <li>■ その他、スマートグラスやARコンテンツの操作性やコンテンツの充実に関する意見が挙げられた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スマートグラスの重量については、今後の技術開発によって解決できると考えられる</li> <li>■ ARコンテンツの操作については、直感的に操作可能な「空間インターフェース技術」を活用したが、アプリを制御するスマートフォンに一部不具合が発生していたため、インターフェースの改良によって解決できると考えられる</li> <li>■ ARコンテンツについては、本事業の結果を踏まえ観戦支援や付加価値提供に向けて、更なる磨き上げを行っていく</li> </ul>



## インバウンド向けARスポーツ観戦サービス実証「参考情報」(6/6)

- モニター募集のチラシではARスポーツ観戦の新規性を訴求できるようなレイアウトを志向した
- 多言語での音声実況やテキスト速報によって観戦支援を行ったことに加え、選手情報や別視点映像等の付加価値の高い情報を提供した

### 7.参考となる成果物

観光庁「最先端観光コンテンツインキュベーター事業」ARスポーツ観戦体験サービス  
 観光庁「最先端観光コンテンツインキュベーター事業」ARスポーツ観戦体験サービス

### 女子バレーボール世界選手権 AR観戦体験モニター募集のご案内

女子バレーボール世界選手権 AR観戦体験モニター募集案内

現場の臨場感とAR映像で  
 これまでにない観戦体験を!!  
 現場の臨場感とAR映像、帶給您前所未有的觀賽體驗!!

スマートグラスでは、試合実況(テキスト・音声)や別視点映像等、様々なコンテンツを賽場の試合を見ながら楽しむことが可能!  
 観上智識映像、可以實時比賽實況(文字・聲音)和其他觀點的影像等多項內容，同時又能實時觀看!

■体験内容:  
 スマートグラスを装着することで、別視点からの生中継映像やリプレイ映像、チームや選手のプロフィール情報、試合実況(テキスト・音声)といった多様な情報を取得しながら実際の試合を観戦することができるといいます。実際の試合を観戦しながら、別視点映像やリプレイ映像、チームや選手のプロフィール情報、試合実況(テキスト・音声)といった多様な情報を取得することができるといいます。

■観戦内容:  
 観上智識映像、可以實時比賽實況(文字・聲音)和其他觀點的影像等多項內容，同時又能實時觀看!

■お申込要項: オンライン申込みにて受付いたします。【受付期間】2018年9月6日(水)～2018年9月21日(金)  
 ■報名要項: 受理順上報名【受理期間】2018年9月6日(週四)～2018年9月21日(週五)  
<http://www.knt-metro.co.jp/ec/AR/pr.html>

AR観戦体験のご案内  
 □観戦項目: 女子バレーボール世界選手権  
 □観戦対象試合: 2018年9月30日(日)・10月1日(月)

9/30	13:30	16:00	19:20
10/1	13:30	16:00	19:20

AR観戦体験指図書  
 □観戦項目: 女子バレーボール世界選手権  
 □観戦場次: 2018年9月30日(日)、10月1日(月)

9月30日(日)	13:30	16:00	19:20
10月1日(月)	13:30	16:00	19:20

■参加条件・注意事項  
 □参加条件: 18歳以上  
 □注意事項: 本サービスは、AR観戦体験専用端末、ARコンテンツを視聴するための専用端末が必要です。本サービスは、AR観戦体験専用端末、ARコンテンツを視聴するための専用端末が必要です。

### 8.実施時の様子



- モニター募集のチラシを多言語(英語及び中国語)にて用意し、各所にて展開・モニターを募集した  
 ※日本語の文章の下に多言語の訳を記載した

- 多言語での音声実況やテキスト速報を提供することで観戦支援を行った
- スマートグラス上にチームや選手の情報等、付加価値の高い情報表示することで体験価値の向上を図った